

independence and QOL of aged people, JADR 48 th Annual Meeting, Symposium "Dental Therapy and Dental Materials/Technology in 21st Century", 松戸, 2000年12月3日.

14) 野村修一: 口腔ケアの重要性, 特別公開一日介護セミナー「家庭で出来る介護術」基調講演, 浦和, 2001年2月3日.

#### 【学会発表】

1) 大瀧直子, 渡邊一也, 五十嵐敦子, 紋谷光徳, 植田耕一郎, 野村修一: 学外施設を利用した介護実習に対する学生の反応, 新学歯学会, 2000年4月15日, 新潟市, 新潟歯学会雑誌, 30(1) 102, 2000.

2) 野村章子, 大瀧直子, 新井映子, 山田好秋, 五十嵐敦子, 野村修一, 河野正司, 高橋 肇: 産学連携による口腔機能改変食品の開発, 食品咬断率測定用ゼリーの検討, 新潟歯学会, 新潟市, 2000年7月8日, 新潟歯学会雑誌, 30(2) 256, 2000.

3) 渡辺一也, 紋谷光徳, 大瀧直子, 田澤貴弘, 植田耕一郎, 野村修一: 特別養護老人ホームにおける口腔ケアの実施とその効果, 新潟歯学会, 2000年7月8日, 新潟歯学会雑誌, 30(2) 256, 2000.

4) 渡邊一也, 紋谷光徳, 大瀧直子, 田澤貴弘, 植田耕一郎, 野村修一: 別養護老人ホームにおける口腔ケアの実施状況と今後の課題, 第11回日本老年歯科医学会, 横浜, 2000年9月16日, 老年歯学, 15(3) 341, 2000.

5) 紋谷光徳, 渡辺一也, 加藤直子, 田澤貴弘, 植田耕一郎, 野村修一: 介護職員のための口腔ケアプロトコルの作成 「うがい」を評価基準とした試案, 第11回日本老年歯科医学会, 横浜, 2000年9月16日, 老年歯学, 15(3) 342-343, 2000.

6) 五十嵐敦子, 紋谷光徳, 野村修一: 味覚障害患者における唾液中のTIMP-1活性について, 第42回歯科基礎医学会, 大阪, 2000年9月30日, 歯科基礎医学会雑誌, 42(5) 156, 2000.

7) 紋谷光徳, 五十嵐敦子, 加藤直子, 野村修一: 味覚障害患者の唾液中TIMP-1活性と血清亜鉛値との関連, 日本味と匂学会第34回大会, 奈良, 2000年10月4日, 日本味と匂学会誌, 7(3) 639-640, 2000.

8) 田澤貴弘, 浅妻真澄, 野村修一, 五十嵐敦子, 紋谷光徳: 高齢者大学受講生における食生活と咬合におけるアンケート調査, 日本補綴歯科学会, 大阪市, 2000年11月11日, 綴誌, 44(104) 2000.

9) 木内延年, 河野正司, 池田圭介, 道見 登, 植田耕一郎: 摂食・嚥下障害者の舌運動評価を目的としたパラトグラム法導入の試み, 日本顎口腔機能学会第23学術大会, 岐阜県, 2001年1月27日.

#### 【研究会報告】

1) 植田耕一郎: 嚥下障害と口腔ケア, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会セミナー, 6月4日, 2000, 佐賀.

2) 植田耕一郎: 障害をもった成人および高齢者の口腔ケアと摂食・嚥下障害の対応, 口腔ケア研修会, 9月14日, 新潟県.

3) 植田耕一郎: 摂食・嚥下障害の基本的事項, 第1回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会技術セミナー, 9月30日, 宮城県.

4) 植田耕一郎: 障害をもった成人および高齢者の口腔の特徴と摂食・嚥下障害の対応, 新潟県歯科医学大会, 11月19日, 新潟県.

5) 植田耕一郎: 歯科と摂食・嚥下障害, 中部摂食・嚥下リハビリテーションセミナー, 11月26日, 愛知県.

#### 【その他】

1) 野村修一: 新潟大学歯学部附属病院 加齢歯科外来の紹介, 新潟市医師会報 355: 3-4, 2000.

2) 野村修一: ホームヘルパー2級養成講座, HHCホームヘルプクラブ, 浦和, 2000年6月2日, 7月23日, 2001年3月31日.

3) 植田耕一郎: 摂食・嚥下リハビリテーション外来/入院紹介, 新潟大学歯学部ニュー 41-42, 2000.

4) 植田耕一郎: 東京都リハビリテーション病院から新潟大学歯学部へ, 日本大学歯学部同窓会新潟県支部同窓会たより, 第30号, 6-7, 新潟県.

5) 植田耕一郎: 障害をもった成人および高齢者の口腔の特徴と摂食・嚥下障害について, 新潟県医師会会報, 352号, 2-5.

6) 植田耕一郎: 摂食・嚥下機能障害の口腔ケア, 日本施設口腔保健研究会ニュース, 2001年冬号.

7) 植田耕一郎: お口のお手入れの手引き, 新潟県保健協会, 7-8, 2000年.

8) 植田耕一郎: リハビリテーション専門病院から歯学部附属病院へ, 病院歯科介護研究会, 8号, 1-2, 2000.

9) 植田耕一郎: 臨床最前線「摂食・嚥下リハビリテーション外来」, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会誌, 84-85, Vol.4, No.1, 2000.

10) 野村修一, 植田耕一郎, 山田好秋, 木竜 徹, 林豊彦, 金子裕史, 田澤貴弘: ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能検査システムの開発, 平成12年度新潟大学プロジェクト推進経費経過報告会, 2001年2月15日.

### 歯科麻酔科

#### 【総説】

1) 染矢源治, 田中 彰: 救急救命士の救急処置に際して歯科医師は指示できるか, 否か?, 日本歯科麻酔学会

雑誌, 28(3), 372-373, 2000.

#### 【論文】

1) 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治, 松井 宏, 三浦真由美, 豊里 晃: 頸部伸展により脳血流障害が誘発される両側内頸動脈狭窄症患者の全身麻酔経験, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(2), 273-274, 2000.

2) 松井 宏, 瀬尾憲司, 染矢源治, 豊里 晃, 田中裕, 三浦真由美: ヘリカルCTを利用した下顎神経ブロックの経験とその有効性, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(2), 250-252, 2000.

3) Kenji Seo, Genji Someya: Postnatal development of central nociceptive mechanisms modulating jaw muscle activity in the rat, Neuroscience letters, 288, 131-134, 2000.

4) Kenji Seo, James W. Hu, Brian E. Cairns and Genji Someya: Involvement of GABA<sub>A</sub> receptor in modulation of jaw muscle activity evoked by mustard oil application to the rat temporomandibular joint, Brain Research, 892, 198-202, 2001.

5) Kenji Seo, Genji Someya, Yutaka Tanaka, Hiroshi Matsui, Akira Toyosato: Sevoflurane and Isoflurane reduce oxygen saturation in infants, Anesthesia progress, 47, 3-7, 2000.

#### 【講演・シンポジウム】

1) 瀬尾憲司: 歯科治療に起因する神経障害の臨床, 新潟大学歯学部同窓会定期セミナー, 新潟市, 2000年11月25日.

#### 【学会発表】

1) 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治, 松井 宏, 豊里晃: 新潟大学歯学部附属病院歯科麻酔科外来の現況第3報 非定型顔面痛患者の検討, 平成12年度新潟歯学会総会, 新潟市, 2000年4月15日, 新潟歯学会誌, 30(1), 102, 2000.

2) 真島一郎, 沢田宏樹, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 荒川正昭, 下条文武, 本間信治, 斎藤 功, 吉嶺文俊, 小浦方啓代, 市川卓郎, 田中 裕, 宮岡 等, 櫻井浩治: 心身医学外来患者における胃電図についての検討, 第41回日本心身医学会総会, 2000年6月22日, 東京都, 心身医学, supplement, 204, 2000.

3) 田中 裕, 染矢源治, 沢田宏樹, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 荒川正昭, 下条文武, 斎藤功, 桜井浩治: 口腔外科手術患者における手術前後の不安と抑うつについて, 第41回日本心身医学会総会, 2000年6月23日, 東京都, 心身医学supplement, 195, 2000.

4) 真島一郎, 桜田潤子, 沢田宏樹, 松本尚也, 斎藤

功, 片桐敦子, 村松芳幸, 荒川正昭, 下条文武, 田中裕, 渋谷太志, 櫻井浩治: 著しい低ナトリウム血症を呈した神経性食欲不振症の一例, 第89回日本心身医学会関東地方会, 東京都, 2000年9月16日, 第89回日本心身医学会関東地方会抄録集, 2000.

5) Keiko Ikeda, Yoshiyuki Muramatsu, Kouji Sakurai, Fumitake Gejyo, Ichiro Mashima, Atsuko Katagiri, Yutaka Tanaka: THE INFLUENCE OF SELF-EFFICACY AND ANXIETY OR DEPRESSION ON DIABETES CONTROL, The 9th Asia Chapter of the International College of Psychosomatic Medicine, Tokyo, 2000.9.29-30, supplement, 2000.

6) 弦巻 立, 村岡 修, 山口 剛, 樋口宗史: Neuropeptide Yのラット摘出静脈収縮反応での感作及び脱感作現象と受容体サブタイプについて, 第51回日本薬理学会北部会, 2000.9.30, 富山市, 2000年9月30日, 第51回日本薬理学会北部会プログラム・講演要旨集, 16, 2000.

7) 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治, 松井 宏, 豊里晃: 歯科治療恐怖症患者の性格傾向と歯科治療時における不安の検討, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 70, 2000.

8) 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治, 松井 宏, 豊里晃: 多剤薬剤アレルギーが疑われ麻酔管理に苦慮した開口障害を有する下顎骨髄炎患者の1症例, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 67, 2000.

9) 松井 宏, 田中 裕, 豊里 晃, 瀬尾憲司, 染矢源治: 中枢性尿崩症を伴う全前脳胞症の全身麻酔経験, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 59, 2000.

10) 瀬尾憲司, 田中 裕, 染矢源治, 松井 宏, 豊里晃: 三叉神経知覚障害と異常感覚の経時的変化に関する検討, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 76, 2000.

11) 豊里 晃, モニジャ・ピーガム, 松井 宏, 田中裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: Exteroceptive Suppressionによる外科的矯正手術後の感覚障害の客観的評価法の検討, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 77, 2000.

12) モニジャ・ピーガム, 豊里 晃, 染矢源治: 低用量のケタミン・ミダゾラム・プロポフォールExteroceptive Suppression(ES)に及ぼす影響, 第28回日本歯科麻酔学会総会, 仙台市, 2000年10月7日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 28(4), 77, 2000.

13) Kenji Seo, Naoshi Fujiwara, Genji Someya: Optical imaging of local excitation propagation in the rat trigeminal caudalis slices, Annual Meeting

American Society of Anesthesiologists, 2000.10.17, in San Francisco, 2000.

14) Naoshi Fujiwara, Ren-Zhi Zhan, Kiichiro Taga, Kenji Seo: Optical image analysis of Neuronal dysfunction in hippocampal slices from the gerbil

following transient brain ischemia, Annual Meeting American Society of Anesthesiologists, 2000.10.17, in San Francisco, 2000.

15) 村岡 修, 許 波, 弦巻 立, 樋口宗史: LeptinによるNPY遺伝子プロモーターの活性制御機構の解析, 第43回日本神経化学会, 2000. 10. 18-20, 金沢市, 2000年10月18 - 20日, 神経化学, 39(3), 217, 2000.

16) K. Seo, G. Someya and N. Fujiwara, Postnatally developmental changes in the EMG activity evoked by mustard oil injection into the temporomandibular joint and the naloxone-induced recurrent EMG activity in the rat. Soc. Neurosci. Abstr., 26, 436, 2000.11.5, in New Orleans, 2000.

17) Yamazaki, Y., Someya, G., Maeda, T. and Wakisaka, S.: Temporo-spatial distribution of c-fos neurons in the spinal dorsal horn of the rat with chronic constriction injury to the sciatic nerve. 30th Annual Meeting of Society for Neuroscience, New Orleans, La., 2000.11.4-9 Society for Neuroscience Abstracts 25( Part 1 ) 1212, 2000.

18) 山崎由美子, 染矢源治, 前田健康: 神経損傷後の脊髄後角におけるFosタンパク陽性ニューロンの分析, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2000年11月11日, 平成12年度新潟歯学会第2回例会抄録集, 2000.

19) 田中 裕, 染矢源治, 沢田宏樹, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 荒川正昭, 下条文武, 櫻井浩治: 口腔外科手術患者における術後疼痛と手術前後の不安との関連性の検討, 第5回日本心療内科学会学術大会, 東京都, 2001年1月12日, 第5回日本心療内科学会学術大会抄録集, 41, 2000.

20) 弦巻 立, 山口 剛, 村岡 修, 樋口宗史: ラット摘出血管におけるニューロペプチドYの血管収縮作用, 第74回日本薬理学会年会, 横浜市, 2001年3月21日, JJP, 85, 84, 2001.

21) 樋口宗史, 三富明夫, 弦巻 立, 山口 剛, 長谷川歩未: Y1ノックアウトマウスの血圧, 血管収縮反応と摂食行動, 第74回日本薬理学会年会, 2001. 3. 21-23, 横浜市, 2001年3月21 - 23日, JJP, 85, 161, 2001.

22) 村岡 修, 許 波, 弦巻 立, 樋口宗史: Leptinは, STAT3を介してNPY遺伝子プロモーターを活性化する, 第74回日本薬理学会年会, 2001. 3. 21-23, 横浜市, 2001年3月21 - 23日, JJP, 85, 191, 2001.

23) 豊里 晃, 弦巻 立, 樋口宗史: プタのsmall

coronary arteryとlarge coronary arteryに対するneuropeptide Yによる収縮の検討, 第74回日本薬理学会年会, 横浜市, 2001年3月21 - 23日, JJP, 85, 261, 2001.

#### 【研究会発表】

1) 松井 宏: 周術期気道確保困難が予想された小児全身麻酔症例への対応, 第17回関東臨床歯科麻酔懇話会, 東京都, 2000年6月24日.

2) 松井 宏: 嚥下障害により術後の気道確保に難渋した口蓋形成術症例, 第47回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2000年11月16日.

#### 【その他】

1) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 松井 宏, 山崎由美子, 弦巻 立: 救急蘇生法講習会, 松村歯科医院主催, 新津市, 2000年6月25日.

2) 染矢源治, 瀬尾憲司, 田中 裕, 松井 宏: 救急蘇生法講習会, 福島県耶麻郡歯科医師会主催, 福島, 2000年7月8日.

3) 瀬尾憲司: 有病者歯科治療時の注意点と笑気吸入鎮静法について, 北蒲原郡水原町歯科医師会ワーキンググループ研修会, 2000年10月28日.

4) 染矢源治, 豊里 晃, 田中 裕, 松井 宏: 救急蘇生講習会, 三条市歯科医師会ワーキンググループ主催, 新潟市, 2000年12月2日.

5) 田中 裕, 村松芳幸: 交流分析講習会(1) 交流分析パターンと基本的構え, 新潟南病院看護部講習会, 新潟市, 2001年1月25日.

### 特殊歯科総合治療部

#### 【著書】

1) 野田 忠: 口腔粘膜を診る, 斎藤隆三他編: 皮膚科診療プラクティス, 9 やさしい小児皮膚科学, p.194-199, 文光堂, 東京, 2000.

#### 【論文】

1) Kinoshita S., Mitomi T., Taguchi Y., Noda T.: Prognosis of replanted primary incisors after injuries. Endod. Dent. Traumatol., 16:175-183, 2000.

2) Taguchi Y., Kobayashi H., Noda T.: The palatally displaced canine in Japanese children. Ped. Dent. J., 10:155-159, 2000.

3) Hayashi S., Nakakura-Ohshima K., Ohshima H., Noda T., Honma S., Wakisaka S., Maeda T.: The developmental of terminal Schwann cells associated with periodontal Ruffini endings in the rat incisor ligament. Brain Res., 858:167-171, 2000.